

## よくある様式1開始日、終了日のエラー例と修正方法

### エラー例

作成された様式1

データ識別番号	統括診療情報番号	入院年月日	退院年月日	様式1開始日	様式1終了日
0000000002	1	20090729	00000000	20090729	20090905

↑転棟日と判定

上記の様式1の場合、

転棟した日は20090905と判定する。

※様式1では一般病棟からの転棟は転棟日までを一般病棟期間として扱うため。

作成されたEFファイル

データ識別番号	実施年月日	算定されている入院料レセ電算コード
0000000002	20090729	190117710 一般病棟 7 対 1 入院基本料
	:	
0000000002	20090904	190117710 一般病棟 7 対 1 入院基本料
0000000002	20090905	190117710 一般病棟 7 対 1 入院基本料
0000000002	20090906	190124910 回復期リハビリテーション病棟入院料
0000000002	20090907	190124910 回復期リハビリテーション病棟入院料
	:	

←転棟日と判定

上記のEFファイルの場合、

20090906 が転棟した日と判定する。

※EFファイルは出来高のルールで作成されたものとして扱われる。

出来高では、転棟日は転棟先病棟の入院料を算定する。

この場合は入院料の病棟が切り替わっている 20090906 が転棟日と判定する。

(なお、Dファイルは包括ルールで作成されるため、転棟日はDPC算定が優先される。)

※障害者施設等入院基本料、亜急性期入院医療管理料なども同様に扱うこと

### 修正方法

#### 実際の転棟日が20090905だった場合

Fファイルの実施日20090905の入院料が誤っている事になるので、回復期リハビリテーション病棟入院料に修正すること。

#### 実際の転棟日が20090906だった場合

様式1の終了日が誤っている事になるので20090906に修正すること。